

# 地域レベルでの漁況海況情報の提供事業－Ⅱ 定置網漁獲統計調査

久野正博

## 目 的

定置網に関する詳細な漁海況情報を蓄積して情報処理と伝達の迅速化を図ることにより、漁況予測を行うための基礎資料とする。

## 方 法

対象漁場：県内18ブリ定置漁場のうち、波切・長島・有井を除く15漁場

調査年度：平成13定置年度(平成13年10月～平成14年7月)

調査項目：魚種別漁獲量，水温，透明度，流向

## 結 果

詳細については平成13定置年度（平成13年10月～平成14年7月）三重県ブリ定置漁獲統計で報告するので、以下は結果の概略を示す。

調査漁場の魚種別漁獲量を表1に示した。総漁獲量は3,561トンで前年度比113%であった。魚種別ではマアジが789トンと最も多く全魚種の22.1%を占めた。次いでマルソウダ410トン，ワラサ385トン，ブリ338トン，シイラ259トン，スルメイカ164トン，カタクチイワシ115トン，その他イカ類119トン，サバ108トンであった。上位4種までは前年度と同じ順位であった。漁獲量10トン以上の魚種の中で前年度と比較して漁獲が増加したのは、カタクチイワシ（前年度比6.3倍）、シイラ（同3.7倍）、その他イカ類（同1.9倍）、サバ（同1.6倍）、トビウオ（同1.5倍）、ワラサ（同1.4倍）、ブリ（同1.4倍）、スルメイカ（同1.4倍）、マダイ（同1.3倍）等であった。逆に減少した魚種は、イワシ類（前年度比33%）、その他ハギ類（同34%）、ヒラソウダ（同38%）、マイワシ（同40%）、イナダ（同63%）、その他アジ類（同66%）、タチウオ（同67%）、ウルメイワシ（同68%）等であった。

表2にはブリ銘柄別漁獲量の年変化を示した。ブリ（6kg以上）の全漁獲尾数は47,304尾（前年度比1.6倍）、過去10年平均尾数の88%で、近年では中水準であった。魚体は7kg前後が主体で、大型の個体は少なかった。ブリのまとまった入網は春季にみられ、4月に全体の約63%、3～4月に全体の約84%、2～4月では全体の96%が漁獲された。全漁場合計の最高尾数は4月16日の5,667尾、次いで4月14日の3,843尾、4月22日の2,641尾、4月7日の2,479尾、2月21日の2,308尾であった。1漁場における1日の最高尾数は梶賀の3,179尾（4月16日）、次いで阿田和の2,270尾（4月7日）、片田の1,700尾（4月22日）、片田の1,485尾（2月21日）であった。

ワラサ（2～6kg未満）の全漁獲尾数は92,165尾（前年度比1.5倍）で、平成元年度以降で最低の漁獲尾数であった前年を大きく上回ったものの、過去10年平均尾数の83%であった。ワラサの入網は秋季は低調に推移し、3～5月に全体の85%が入網した。5月の漁獲は昭和40年以降では平成11年度に次ぐ36,293尾に達した。全漁場合計の最高尾数は4月29日の9,370尾、次いで5月8日の6,852尾であった。1漁場における1日の最高尾数は九木1号の4,294尾（4月29日）、次いで九木2号の4,227

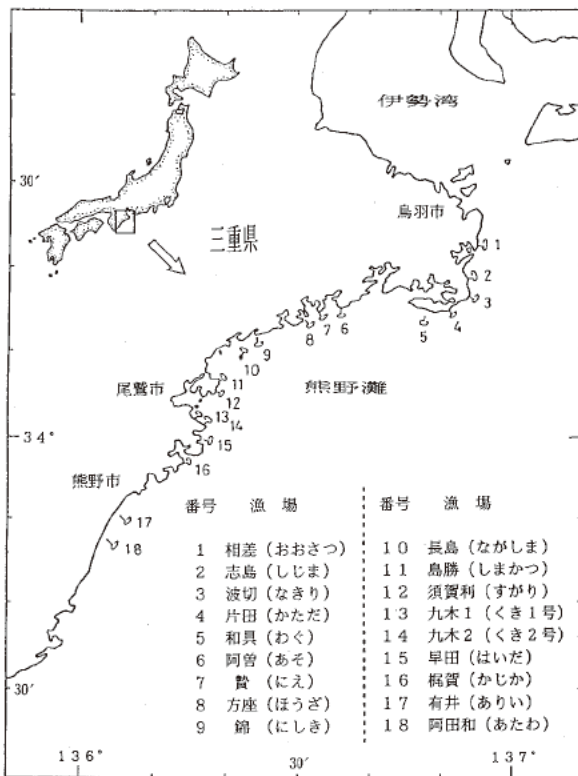


図1 定置漁場位置

表1 全漁場魚種別漁獲量 (2001年10月～2002年7月)

順位	魚種名	漁獲量(kg)	相対度数(%)
1	マアジ	788,690	22.148
2	マルソウダ	409,824	11.509
3	ワラサ	385,087	10.814
4	ブリ	338,000	9.492
5	シイラ	259,346	7.283
6	スルメイカ	164,169	4.610
7	カタクチイワシ	114,939	3.228
8	その他イカ類	108,679	3.052
9	サバ	108,239	3.040
10	その他アジ類	88,510	2.486
11	イナダ	76,282	2.142
12	イサキ	76,199	2.140
13	ヒラソウダ	45,095	1.266
14	その他ハギ類	44,700	1.255
15	マダイ	43,381	1.218
16	トビウオ	42,732	1.200
17	カンパチ	34,374	0.965
18	イワシ類	31,234	0.877
19	ボラ	31,232	0.877
20	イシダイ	25,486	0.716
21	フグ類	24,784	0.696
22	カマス	22,179	0.623
23	カワハギ	19,109	0.537
24	タチウオ	18,595	0.522
25	スズキ	16,419	0.461
26	メジナ	13,212	0.371
27	ウルメイワシ	11,338	0.318
28	マイワシ	10,376	0.291
29	ヒラマサ	8,934	0.251
30	ヒラメ・カレイ類	8,419	0.236
31	ウマツラハギ	8,264	0.232
32	ヨコワ	7,855	0.221
33	ムツ	7,174	0.201
34	サワラ	6,293	0.177
35	マグロ類	4,228	0.119
36	ハガツオ	3,469	0.097
37	カジキ類	2,783	0.078
38	ヤリイカ	1,424	0.040
39	シマアジ	228	0.006
40	その他雑魚	149,691	4.204
合計		3,560,972	100.000

尾(4月5日)であった。

イナダ(0.5～2kg)の全漁獲尾数は86,466尾(前年度比83%)で前年および前々年を下回ったものの、過去10年平均尾数並みであった。10月に5万尾近い入網があり、昭和40年度以降の月間漁獲尾数としては平成元年4月および平成9年4月に次ぐ豊漁となった。春季は4月にややまとまった漁獲がみられた他は、低調に推移した。漁場としては贅で最も多く、10月に3万尾を超える漁獲があった。1漁場における1日の最高尾数は贅の16,332尾(10月1日)、次いで贅の6,647尾(10月11日)、同じく贅の4,446尾(4月7日)であった。

ブリ以外の主要魚種であるマイワシ・イワシ類、マアジ、サバ類の動向について表3に示した。マイワシ・イワシ類の漁獲は減少傾向がさらに進み、昭和58年度以降では初めて100トンを下回り、平成元年度のわずか4%

表2 ブリ銘柄別漁獲尾数の年変化(昭和50定置年度以降)

定置年度	ブリ	ワラサ	イナダ
50	116,766	39,340	15,529
51	59,202	8,859	13,618
52	32,942	23,197	17,081
53	56,314	33,722	28,522
54	26,676	42,943	57,647
55	30,174	48,547	45,857
56	42,835	42,212	42,027
57	50,182	20,012	23,677
58	61,493	29,445	86,242
59	35,588	28,682	91,930
60	51,428	90,790	75,805
61	57,365	30,346	71,282
62	45,568	58,619	52,923
63	29,482	23,913	212,372
1	48,452	141,790	106,244
2	23,531	95,668	69,701
3	40,233	120,464	60,153
4	39,515	116,342	103,796
5	95,229	80,803	149,086
6	52,901	157,425	29,764
7	61,474	90,118	25,090
8	34,920	94,161	228,612
9	44,631	148,757	55,462
10	34,915	140,558	21,998
11	104,850	99,046	105,942
12	29,180	62,779	103,578
13	47,304	92,165	86,466

表3 主要魚種の漁獲量(トン)の年変化(昭和58定置年度以降)

定置年度	マイワシ	マアジ	サバ類
58	1,599	91	584
59	306	63	563
60	298	110	1,313
61	483	634	655
62	446	179	542
63	612	377	980
1	1,146	385	301
2	872	853	317
3	666	644	148
4	689	1,253	654
5	807	1,312	1,010
6	379	306	255
7	350	1,199	410
8	621	792	845
9	179	535	278
10	126	408	129
11	185	382	201
12	120	641	67
13	46	789	108

「マイワシ」と「イワシ類」の合計値

の46トンであった。一方、マアジは前年度に引き続き全魚種で最も多く漁獲され(789トン)、全魚種合計漁獲量の22%を占めた。サバ類は昭和58年度以降で最低の漁獲量であった前年度は上回ったものの、108トンで昨年に次ぐ低水準であった。

関連報文

三重県：平成13定置年度三重県ブリ定置漁獲統計，2003